

# QUIDを使用した 丸亀市の市民アンケートの分析結果

# 目次

- 01. アンケート結果のまとめ
- 02. ①あなた自身のことについて
- 03. ②丸亀市での生活について
- 04. ③若者の地元定着・地元回帰について
- 05. ④丸亀市の取組の現状と今後について
- 06. ⑤人口減少対策について

# 市民アンケートの分析結果

## アンケート結果のまとめ

市民アンケートの結果に関するまとめは以下のとおり

セクション	結果の概要
①あなた自身のことについて(Q1-4)	<ul style="list-style-type: none"> <li>回答者の性別は男性44%、女性55%(その他1%)となっており、年齢は50歳以上が6割を占めている。</li> <li>回答者の居住歴は10年以上が8割を占めている。</li> </ul>
②丸亀市での生活について(Q5-8)	<ul style="list-style-type: none"> <li>暮らし続けたいという住民は8割を超えていた。</li> <li>丸亀市の魅力については「買い物など日常生活が便利」が前回に引き続き割合が高く、上昇していた。</li> <li>不足している魅力については「趣味や娯楽の場が少ない」の割合が前回に引き続き高いが、「まちの魅力に乏しく、個性がない」「行政サービスがよくない」については前回から割合が低下しており魅力が向上している。</li> <li>年齢別の居住継続意向では、16～19歳の「これからもずっと暮らし続けたい」が10.7%低下しているが、「いったんは離れても、また戻ってきたい」が25.0%増加している。</li> </ul>
③若者の地元定着・地元回帰について(Q9-11)	<ul style="list-style-type: none"> <li>若者が地元に戻ることの障壁として、働く場所の少なさが4割以上を占めており、ほかにも娯楽や余暇の楽しみの少なさなど、都会と比較したときの魅力のなさが挙げられていた。</li> <li>必要なものとしては、上記同様に働く場所のほかに子供を育てられる環境やイベントの充実が挙げられていた。</li> <li>その他の自由記述の意見としては、若者が充実した生活ができる環境(職場、娯楽、将来設計)や大学や就職先などの高校卒業後の進路に関するものが挙げられていた。</li> </ul>
④丸亀市の取組の現状と今後について(Q12)	<ul style="list-style-type: none"> <li>満足度が低く、今後の重要度は高いとする意見が多い分野(重点改善分野)として、「雇用対策/公共交通/バリアフリー/工業/農林水産業/商業やサービス業」が挙げられている。</li> <li>前回調査時の重要項目(赤枠)については「ゴミの減量・リサイクル」「子育て支援」で満足度向上が見られ、そのほかの5項目では満足度低下が見られた。</li> </ul>
⑤人口減少対策について(Q13)	<ul style="list-style-type: none"> <li>人口減少を止めるための意見として、子育て世代や若い世代に対して今以上に支援策を充実させることや、県外流失を止めるための対応策として学校・職場を充実させ、地元へ戻りやすくするなどの関する意見が見られた。</li> </ul>

# 市民アンケートの分析結果

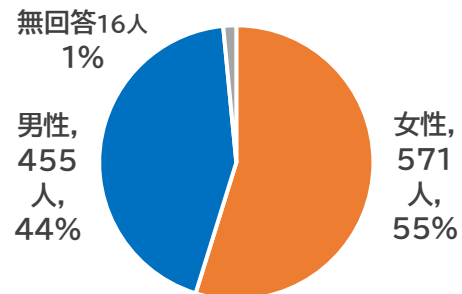
## ①あなた自身のことについて

市民アンケートの「Q1-Q4.あなた自身のことについて」に関する結果は以下のとおり

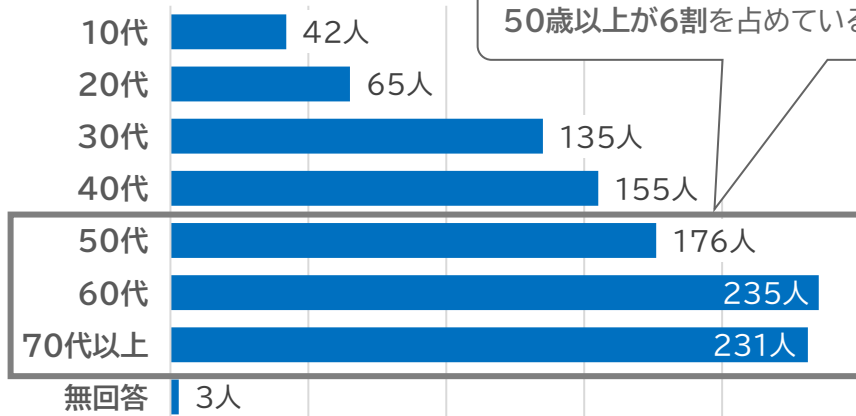
### ■ 回答者数



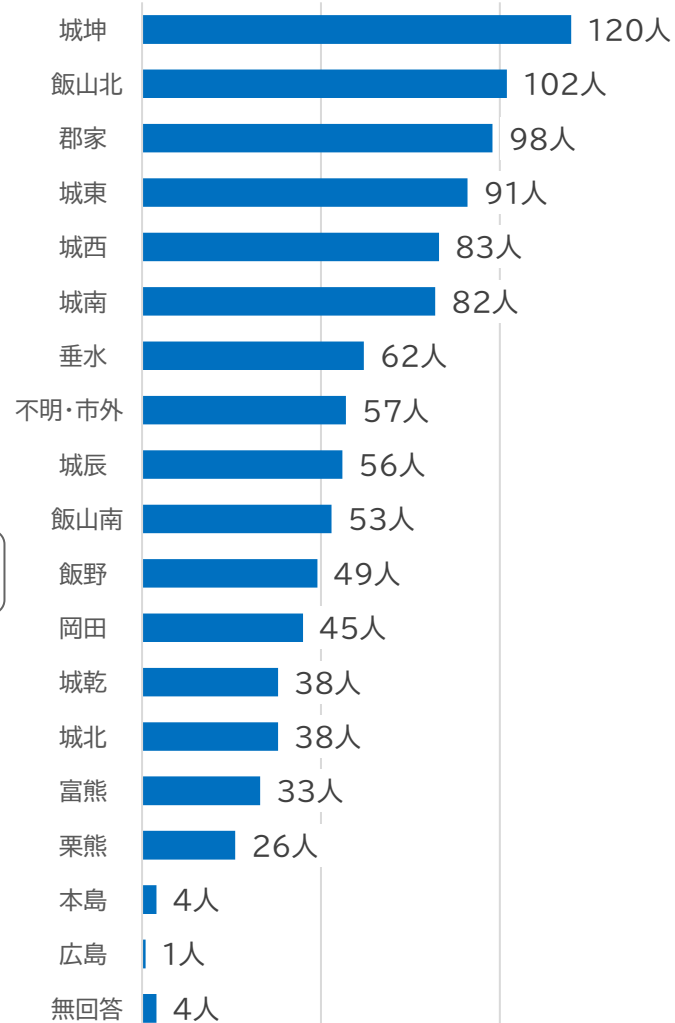
### ■ Q1.性別は？



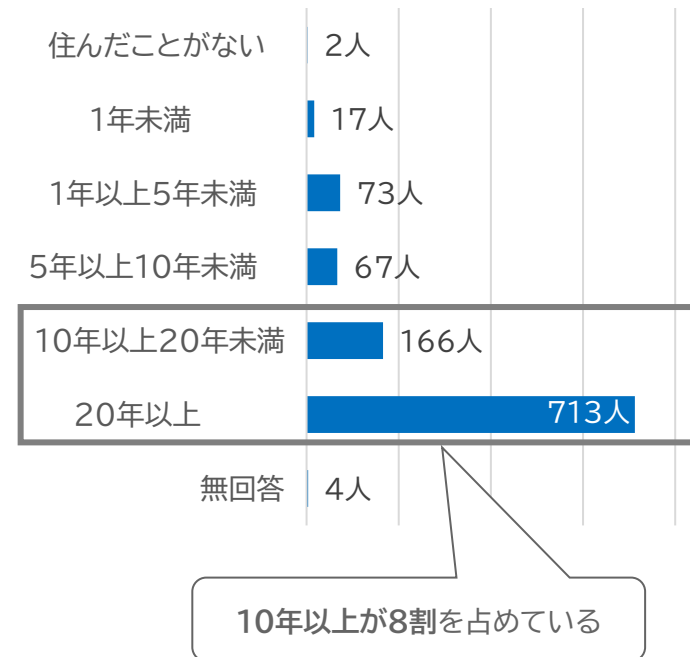
### ■ Q2.年齢は？



### ■ Q3.居住地は？



### ■ Q4.居住歴は？

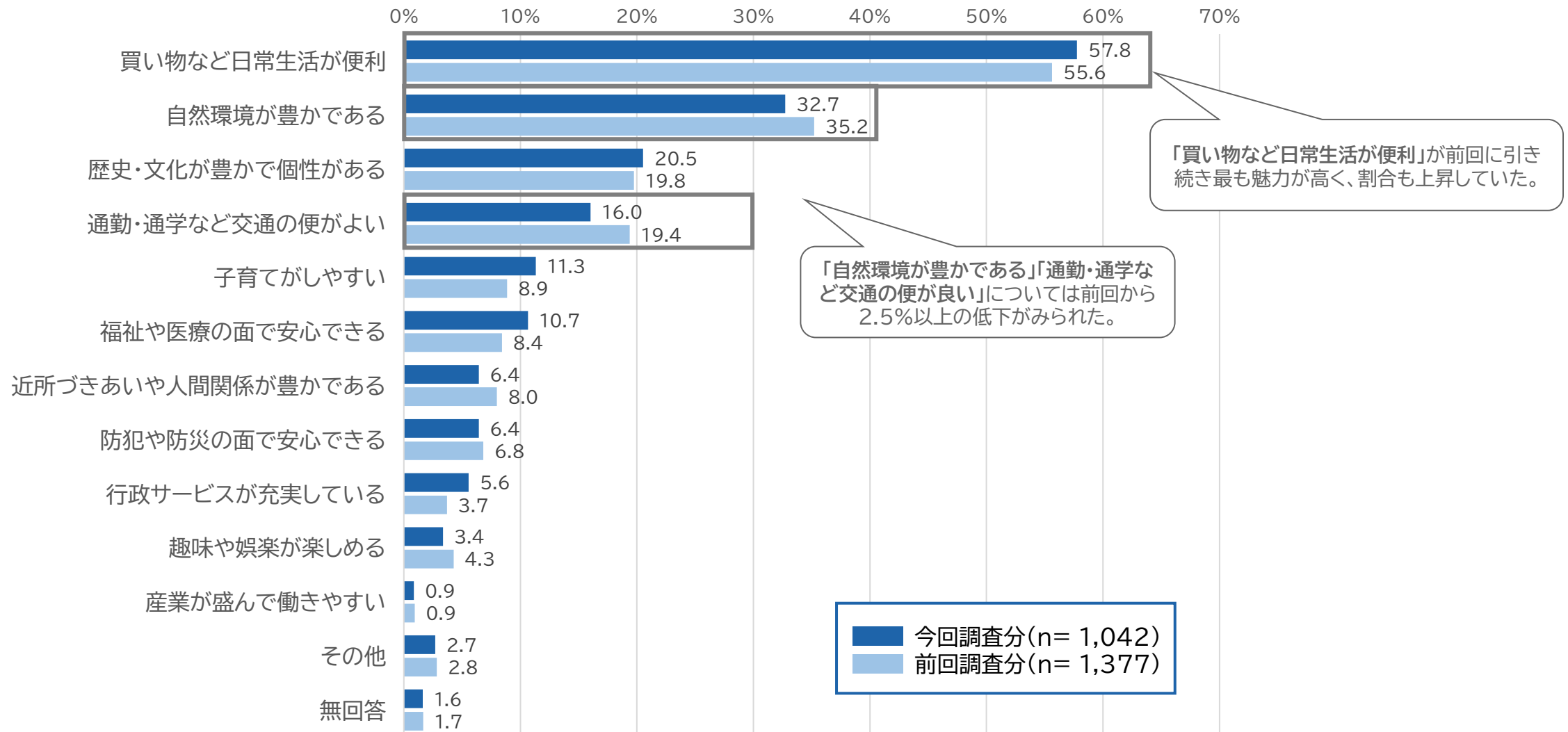


# 市民アンケートの分析結果

## ②-1. 丸亀市での生活について

市民アンケートの「Q5.丸亀市の魅力」に関する結果は以下のとおり

※Q5は複数回答可の設問のため、回答比率の合計が100%を超えております。

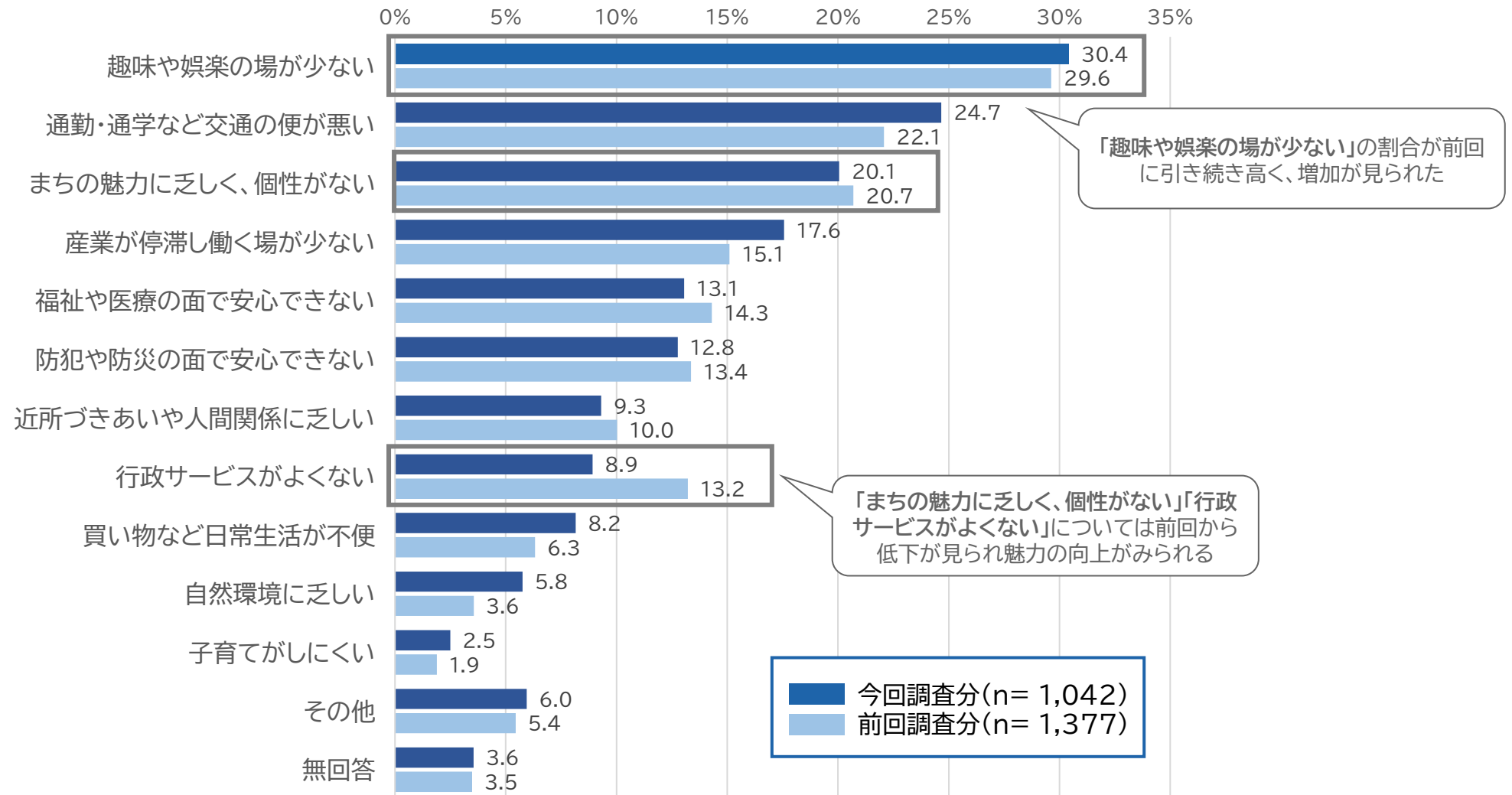


# 市民アンケートの分析結果

## ②-2. 丸亀市での生活について

市民アンケートの「Q6.丸亀市に不足している魅力」に関する結果は以下のとおり

※Q6は複数回答可の設問のため、回答比率の合計が100%を超えております。



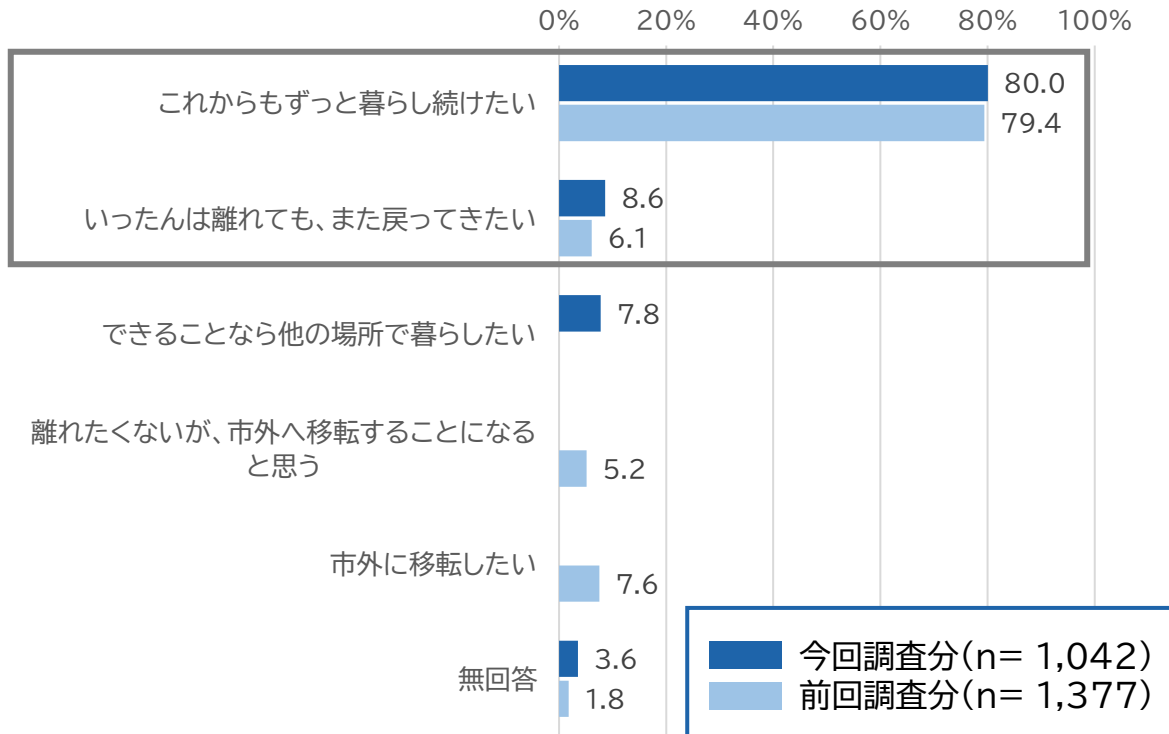
# 市民アンケートの分析結果

## ②-3. 丸亀市での生活について

市民アンケートの「Q7.丸亀市で暮らしたいか」に関する結果は以下のとおり

- 今回の調査での、「これからもずっと暮らし続けたい」「いったんは離れても、また戻ってきたい」についてはそれぞれ増加がみられた。
- 年齢別の居住継続意向を確認すると、16～19歳の「これからもずっと暮らし続けたい」が**10.7%低下**(25.0%⇒14.3%)しているが、「いったんは離れても、また戻ってきたい」が**25.0%増加**(41.7%⇒66.7%)している。

### ■丸亀市への居住継続意向



### ■年齢別の丸亀市への居住継続意向(今回)

1位 2位

	調査数	これからもずっと暮らし続けたい	いったんは離れても、また戻ってきたい	できることなら他の場所で暮らしたい	無回答	
全体	1,042	80.0	8.6	7.8	3.6	
年齢別	16～19歳	42	14.3	66.7	19.0	0.0
	20～29歳	65	49.2	30.8	20.0	0.0
	30～39歳	135	83.0	7.4	8.1	1.5
	40～49歳	155	78.7	9.7	11.6	0.0
	50～59歳	176	81.3	5.7	8.5	4.5
	60～69歳	235	90.6	2.1	3.8	3.4
	70歳以上	231	88.7	0.9	2.6	7.8
	無回答	3	33.3	0.0	33.3	33.3

### ■年齢別の丸亀市への居住継続意向(前回)

	調査数	これからもずっと住み続けたい	いったん離れるかもしれないが、いずれは戻ってきたい	離れたくないが、市外へ移転することになると思う	市外に移転したい	無回答	
全体	1,377	79.4	6.1	5.2	7.6	1.8	
年齢別	16～19歳	60	25.0	41.7	15.0	16.7	1.7
	20～29歳	85	48.2	25.9	10.6	14.1	1.2
	30～39歳	194	72.7	7.7	8.8	10.3	0.5
	40～49歳	202	78.7	5.9	4.5	8.9	2.0
	50～59歳	247	83.4	1.6	4.5	8.9	1.6
	60～69歳	292	87.3	0.7	3.8	5.8	2.4
	70歳以上	293	93.2	1.0	1.7	1.7	2.4

## 市民アンケートの分析結果

### ②-3. 丸亀市での生活について

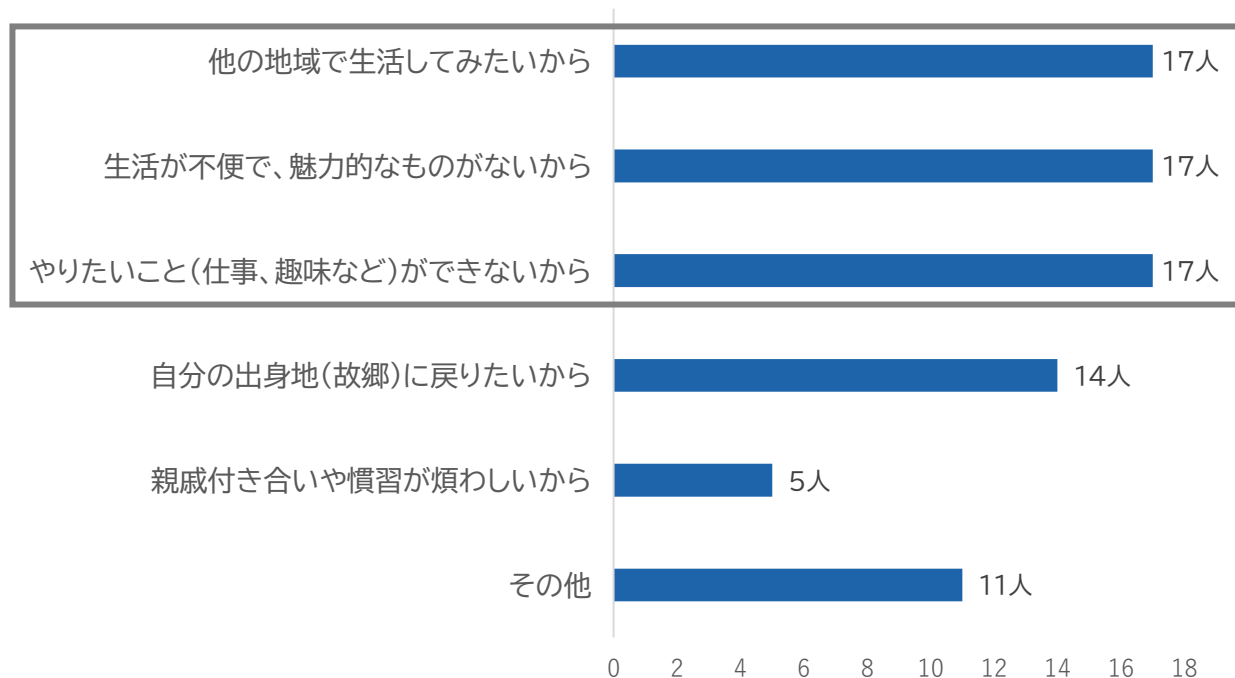
市民アンケートの「Q8.丸亀市で暮らしたくない理由」に関する結果は以下のとおり

※Q8はQ7で「できることなら他の場所で暮らしたい」を選択した回答者(81人)のみが回答

- Q7で「できることなら他の場所で暮らしたい」を選択した回答者は、7.8% (81人)で理由としては、丸亀市以外での生活への魅力や、仕事や趣味などのやりたいことを実現する障壁の高さがを望む声を中心となっていた。
- 自由記述の意見としては、「免許返納後の生活の不便さ」「職場への距離」「進学の実機数の少なさ」などが挙げられていた。

#### ■その他の意見

- 免許証を返納したあとの買い物が不便。(70代以上男性)
- 職場が遠くなったから。(40代女性)
- 子供が大学進学する場合の選択肢が少ないから。(20代男性)
- 宇多津町での生活の方がよかったから(40代女性)
- 自然豊かで静かな場所に住みたい。(20代女性)



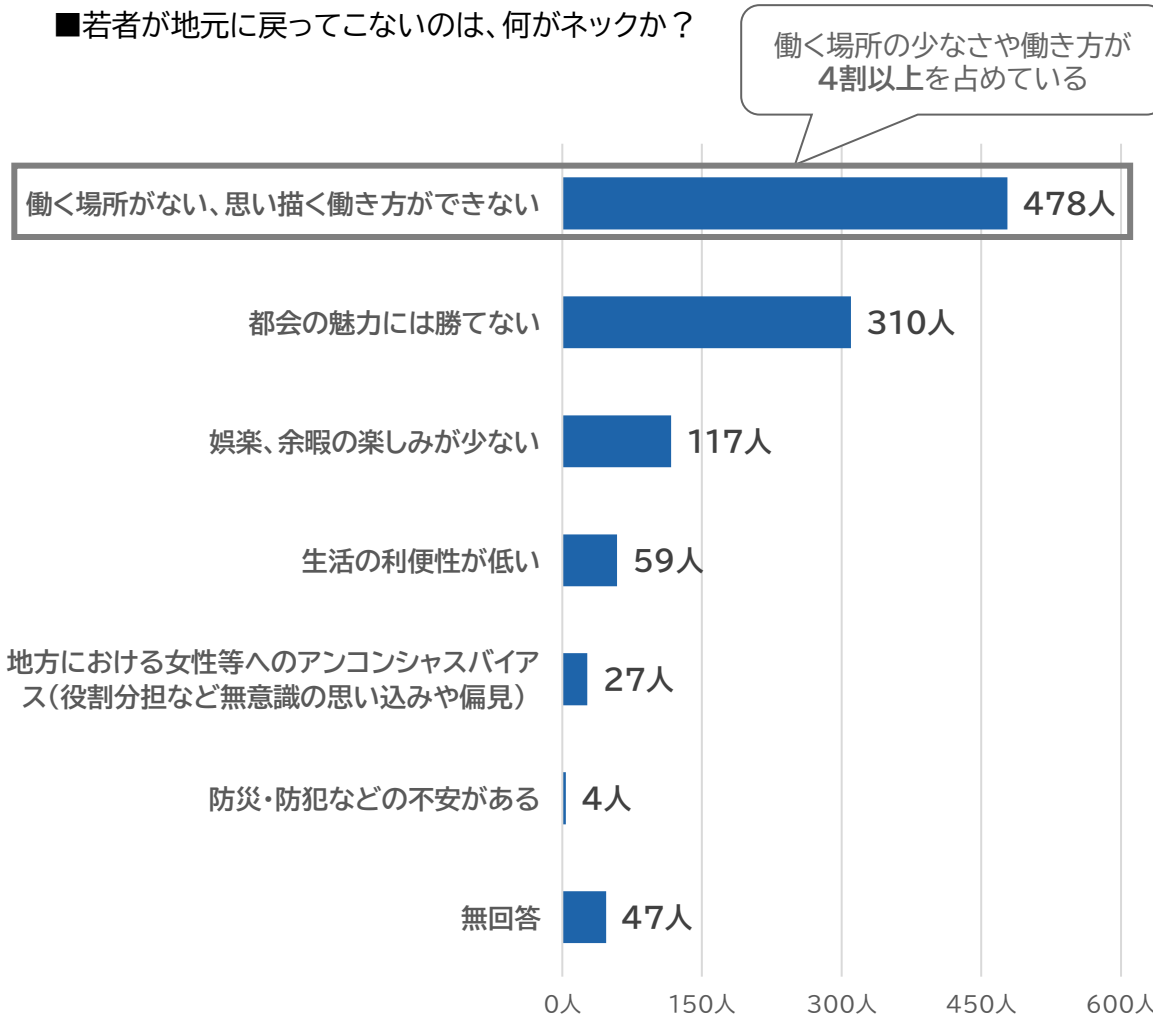
暮らしたくない理由として、丸亀市以外での生活への魅力や、やりたいことを実現する障壁の高さが中心

# 市民アンケートの分析結果

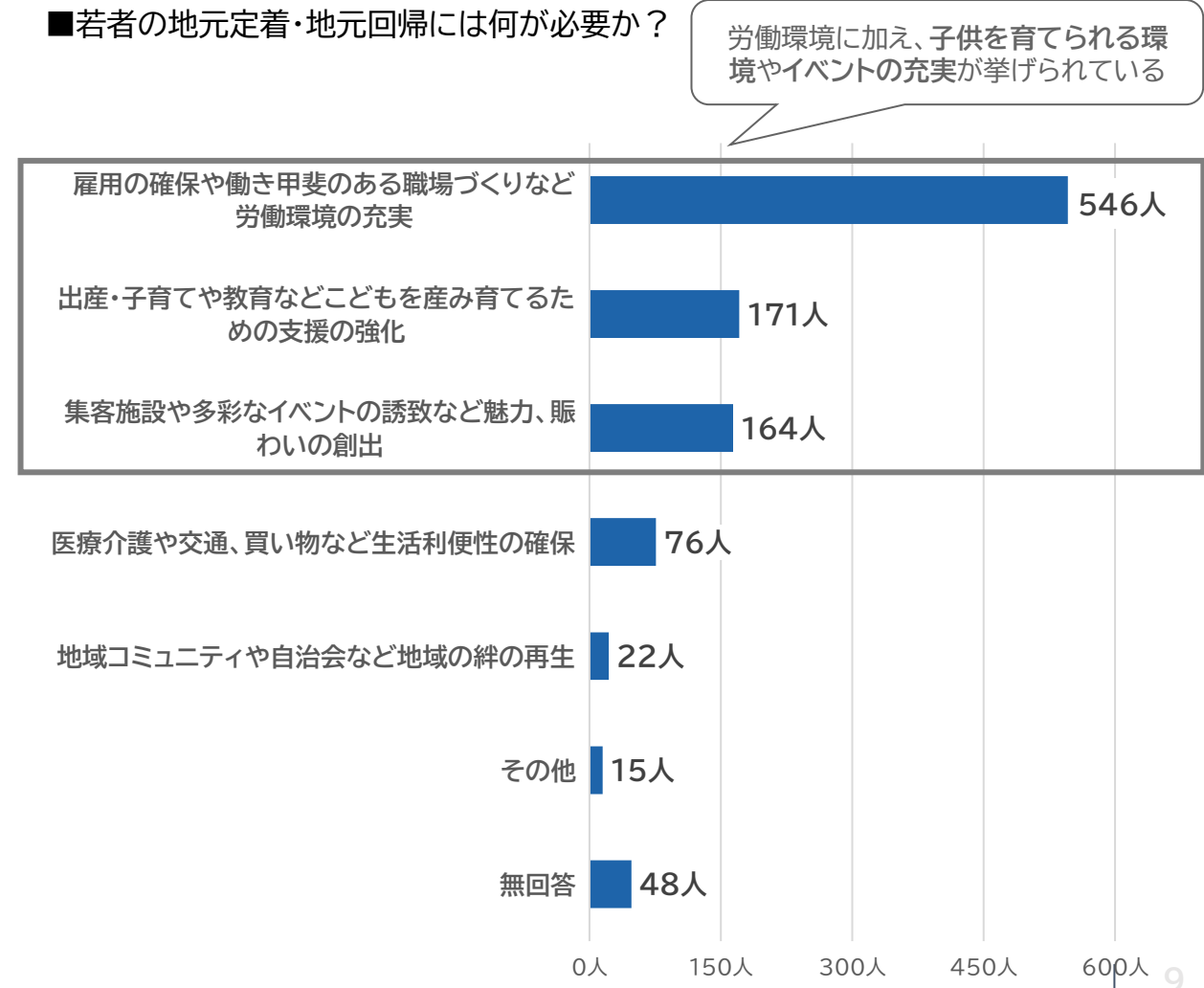
## ③-1. 若者の地元定着・地元回帰について

市民アンケートの「Q9.若者が地元に戻ってこないのは、何がネックか?」「Q10.若者の地元定着・地元回帰には何が必要か」に関する結果は以下のとおり

■若者が地元に戻ってこないのは、何がネックか?



■若者の地元定着・地元回帰には何が必要か?



## 市民アンケートの分析結果

### ③-2. 若者の地元定着・地元回帰について

市民アンケートの自由記述欄「Q11.若者の地元定着・地元回帰についてのご意見」に関する結果は以下のとおり

※自由記述の回答数は195件/1042件

#### ・都会

- ▶ 都会に出ていくとき(あそび)交通便が悪い
- ▶ 雇用される以外の働き方、フリーランスな働き方が都会に比べて難しい。
- ▶ 私は一度大阪へ行き、丸亀に戻りました。都会の娯楽や便利さは行けばいいので十分。実際月1回は大阪へ行く。こちらにも良さはある。家族が近くにいたり気の知れた知人も多い。生活コストも都会に比べるとかなり低いので暮らしやすい。娯楽や刺激的なイベントを求める人は都会を。

#### ・大学

- ▶ 大学が少なすぎる。瀬戸芸などがあるのに、芸術、美術系の進学先、その先の進路が少なすぎる。
- ▶ 今の現状では、東京など都会が充実しているので職場、学校、(大学)等がどうしても国の方針が変わらない限り、難しいと思う。岡山、倉敷等のような大きな病院(医師等の劣悪(労災)を改善して、少しでも近づけてほしいです。



#### ・若者

- ▶ スポーツイベントなど若者に人気の試合を企画してほしい。
- ▶ 若者が地元を離れて職に就くとなかなか帰ってこない(そのためには地元にも職場を増やしてほしい)
- ▶ 若者の結婚に対する支援の充実・バサラ祭りのような県外から人が集まれるイベントの実施
- ▶ 若者の楽しめる場所がない。スーパー、ドラッグストアばかりが必要以上に多い

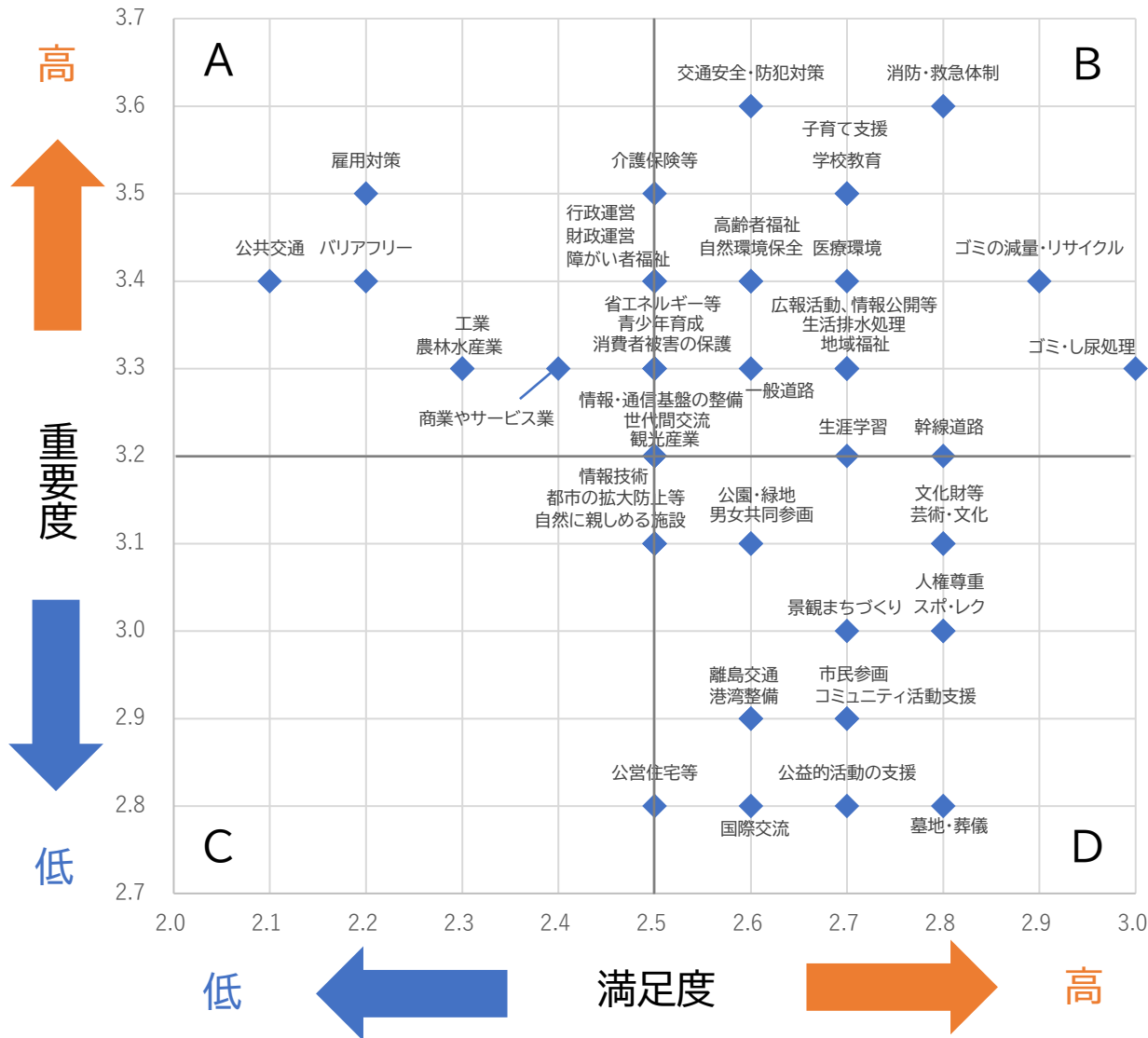
#### ・企業

- ▶ 地元企業のテレワークの推進が必要
- ▶ ボートの収益が使えるうちにスタートアップ企業やベンチャー企業等への助成誘致が必要。
- ▶ 企業誘致し良い就職先が増えると良いと思う。
- ▶ 大企業レベルの誘致、働く場の提供、子育て支援

# 市民アンケートの分析結果

## ④-1. 丸亀市の取組の現状と今後について

市民アンケートの「Q12.取組みの現状と今後」に関する結果は以下のとおり

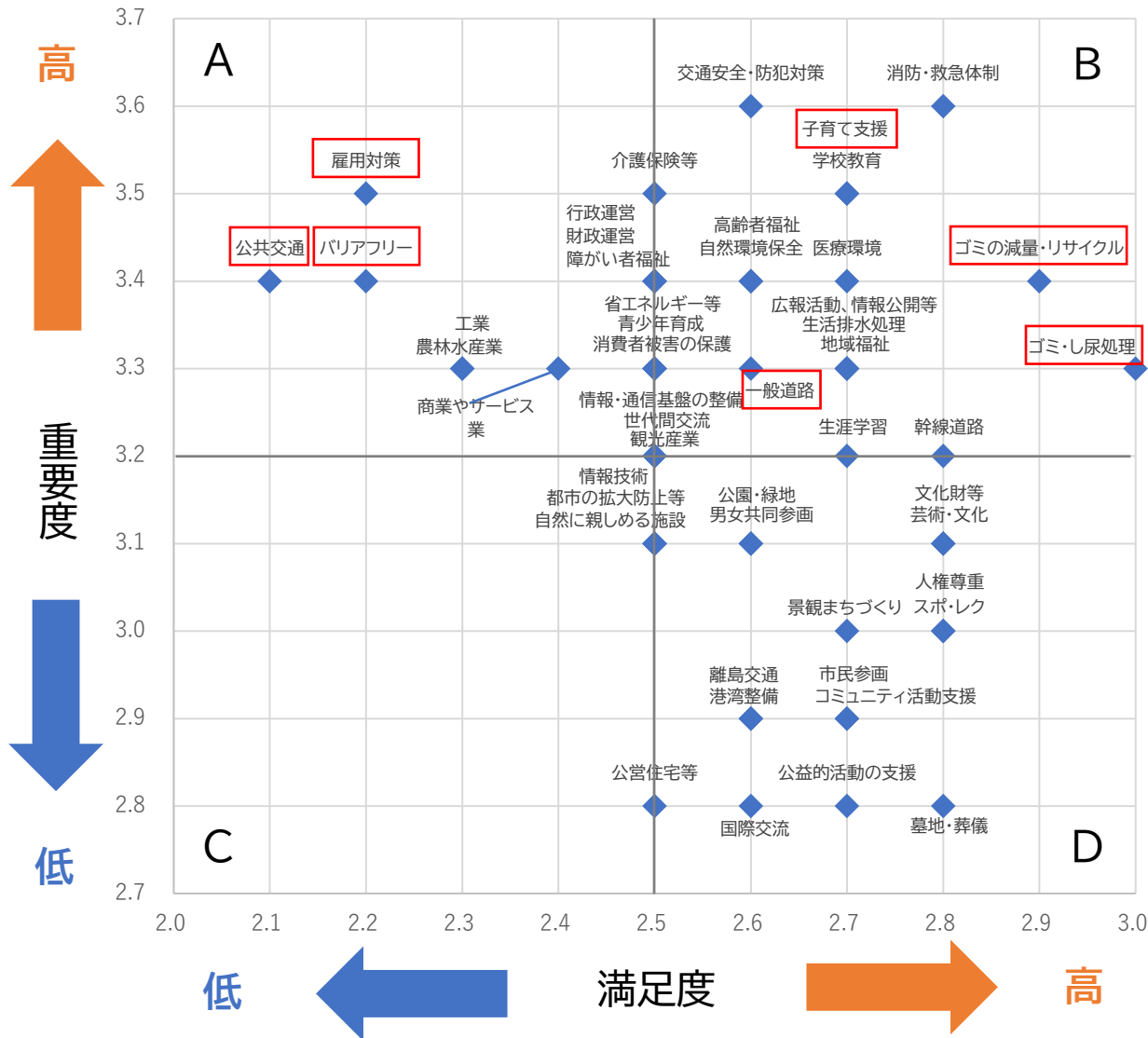


A: 重点改善分野	B: 重点維持分野
満足度が低く、今後の重要度は高いとする意見が多い分野である。該当する項目への重点的取組により、市民の満足度を高めることが強く求められている。	満足度、重要度共に高いとする意見が多い分野である。重点分野として、今後も現在のサービス水準を維持していくことが強く求められている。
<b>該当項目:</b> 雇用対策/公共交通/バリアフリー/工業/農林水産業/商業やサービス業	<b>該当項目:</b> 交通安全・防犯対策/消防・救急体制/子育て支援/学校教育/高齢者福祉/自然環境保全/医療環境/ゴミの減量・リサイクル/一般道路/広報活動、情報公開等/生活排水処理/地域福祉/ゴミ・し尿処理
C: 改善分野	D: 維持分野
満足度、重要度共に低いとする意見が多い分野である。実施方法の改善や市民への周知などにより、できるだけ満足度を高めることが求められている。	満足度は高いが、今後の重要度は低いとする意見が多い分野である。できるだけサービス水準の維持に努めながらも、社会情勢や市の実情に見合った取組が求められている。
<b>該当項目:</b> なし	<b>該当項目:</b> 公園・緑地/男女共同参画/文化財等/芸術・文化/景観まちづくり/人権尊重/スポ・レク/離島交通/港湾整備/市民参画/コミュニティ活動支援/国際交流/公益的活動の支援/墓地・葬儀

# 市民アンケートの分析結果

## ④-1. 丸亀市の取組の現状と今後について(前回との比較)

- ・ 前回調査時の重要項目(赤枠)については「ゴミの減量・リサイクル」「子育て支援」で満足度向上が見られ、そのほかの5項目では満足度低下が見られた。
- ・ 「C:改善分野」の項目については満足度・重要度ともに上昇傾向にあった。



項目	前回の調査		今回の調査	
	満足度	重要度	満足度	重要度
ゴミの減量・リサイクル	2.8	3.4	2.9	3.4
一般道路	2.8	3.2	2.6	3.3
バリアフリー	2.4	3.4	2.2	3.4
公共交通	2.4	3.3	2.1	3.4
ゴミ・し尿処理	3.1	3.3	3.0	3.3
雇用対策	2.3	3.4	2.2	3.5
子育て支援	2.6	3.4	2.7	3.5

■前回の調査結果  
(参照:第二次丸亀市総合計画 後期基本計画)

